

東照宮へ、ロマネスク日光街道①2日目 今市宿～鉢石宿～日光東照宮

開催日：2024年4月14日（日） 天候：晴れ 一般 歩数：24000歩 距離：15km

集合：ホテル村上 8時15分

コース：ホテル村上→報徳二宮神社 二宮尊徳の墓→如来寺 化け桜→今市宿標柱→浄泉寺 そば喰稲荷→今市瀧尾神社 叶願橋→日光杉並木道→瀨川の一里塚→杉並木公園→「砲弾討ち込み杉」→野口薬師堂→晃麓わさび園→「並木太郎」→手打ちそばむつみ庵（昼食）→東武日光駅→稲荷神社 西行戻り石→鉢石（はついし）宿 →「鉢石」→大谷川→日光橋→神橋→世界遺産日光の社寺エリア→ホテル清晃苑→表参道→日光東照宮→五重塔→三猿→陽明門→唐門→眠り猫→奥社→徳川家康墓所→鳴き龍の薬師堂→輪王寺→ホテル清晃苑 報告祝賀の宴

参加者：熊坂L 奥村SL 勅使河原 奈良 清水 市村 小田 山田 高橋友 脇坂、内海 田村 平嶋 熊島 14名

「東照宮へ、ロマネスク日光街道」、最終回の2日目。今市宿から日本橋を出て最後の宿の鉢石宿を経由して、日光東照宮までの街道歩きです。この日も快晴、快調なピッチで歩き13時55分に日光東照宮に到着しました。日光街道は、日本橋を出て21宿を経て日光東照宮までの総距離約142km。神奈川ウォーキングクラブの「東照宮へ、ロマネスク日光街道」は、全11回シリーズ16日間、歩行距離は233.5km、延べ217名が参加。名所旧跡を訪ね、土地の名物を頂き、博物館見学で博識に。下見で見つけてくれた地元のお店での美味しい昼食タイム、地元密着のお店でのアフター、思い出いっぱい楽しい日光街道でした。



ホテル村上 8時15分～報徳二宮神社 ストレッチ 奉納投げ 二宮尊徳の墓

熊坂リーダーが、ホテル村上前でコース説明。全員写真を撮影して8時15分にスタート。前日夕食懇親会をした「宴楽」前を通り、二宮尊徳の徳を偲び明治に創建された報徳二宮神社へ。境内の一角でストレッチ。鳥居前に大きな木彫りの尊徳像があり、「尊徳像の頭上が願い受けになっています。お金を投げ入れて見事に入ると願いが叶うとされています」と「奉納投げ」の説明書きがありました。早速高橋さんがチャレンジ、見事に投げ入れました。安全祈願をして本殿裏に、江戸時代末期の農政家二宮尊徳の墓がありました。



如来寺～如来寺の化け桜～日光街道を西へ～今市宿標柱～浄泉寺 そば喰稲荷

二宮神社を出て隣の如来寺へ。室町時代に開かれた古刹で、東照宮造営の際には徳川家光が宿泊するために壮大な御殿が境内に建てられました。境内に入ると桜が満開、如来寺は日光参拝の大名方が見物に立ち寄るほどの桜の名所でもありました。山門を出ると「如来寺の化け桜」の古木があり、説明板に「この桜はこの地方で一番早く花を咲かせる樹齢二百年を越す桜の銘木であり、如来寺の化け桜として親しまれています」と書かれていました。本沢だんご店でお団子を購入。日光街道に出て「今市宿」の標柱前を通過。街道を西へ少し進んで浄泉寺へ、満開の桜とウグイスの鳴き声のお出迎え。境内の一角にそば喰稲荷がありました。



浄泉寺～9時11分 今市瀧尾神社 叶願橋～日光杉並木道～瀬川の一里塚

浄泉寺を出て3分ほど歩き9時11分、勝道上人が開いたと伝わる古社の今市瀧尾神社へ。ここも桜が満開、石の鳥居をくぐると小さな叶願橋があり、渡る前後に願い事を5回ずつ唱えようと願いが叶うと言われています。今市瀧尾神社を出たところからは、歩いて来た日光街道が国道119号と杉並木道に分かれます。徳川家康・秀忠・家光の三代の将軍に仕えた松平正綱・正信親子が植栽した日光杉並木道に入ります。40年ほど前に日光を訪れたときは、この杉並木道をバスで走ったような記憶があるのですが……。道の両脇は石積みになっていて、右側に上ったところに日光街道最後の一里塚、瀬川の一里塚がありました。



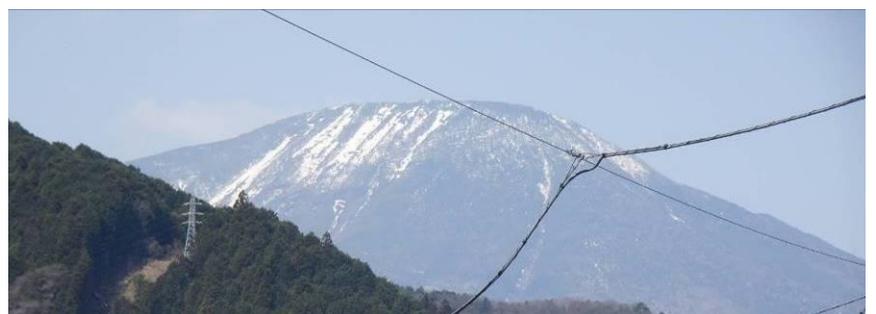
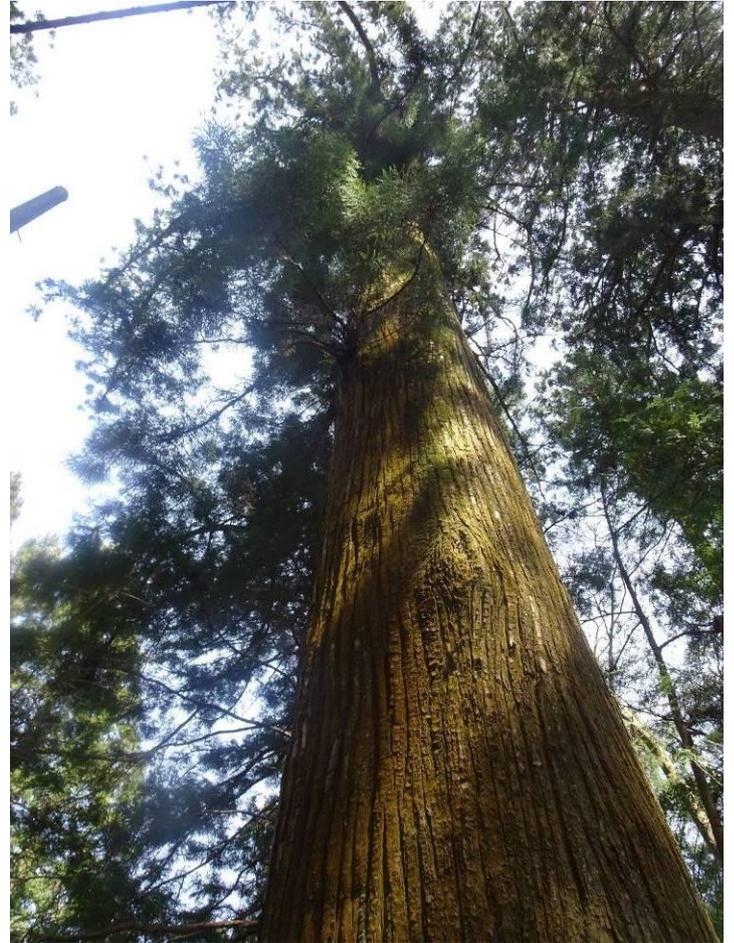
杉並木公園 南小倉村旧江連家 団子で小休憩～砲弾打込み杉～野口薬師堂

一里塚へ上ると杉並木公園が広がっていて、江戸時代の南小倉村旧江連家が移築保存されていました。ここで小休憩、奥村サブリーダーが「大沢だんご店」で購入した団子を差し入れしてくれました。ベンチに座り頂くことに、美味しさに笑顔がこぼれます。公園の一角に「日光杉並木保護賛同者」の木札が並んでいました。再び杉並木道に入ります。ここは石畳道になっていて緩やかな上り道、側溝を水が流れています。明治戊辰の役で官軍が、日光に拠（よ）る幕府軍を攻撃した際に砲弾が当たったあとがある「砲弾打込み杉」がありました。15分ほど進み野口薬師堂へ、村人が石で作った竜頭の壊れた梵鐘が放置されていました。



晃麓わさび園～「並木太郎」杉～左にJR日光線、前方には男体山

時刻は10時30分、杉並木道を進みます。右側の用水池のところの桜が満開、その先に晃麓(こうらく)わさび園あり、ワサビは保冷の心配もあり奈良漬を購入。女将さんが、「日光の麓で晃麓です」と教えてくれました。杉並木道が国道119号と合流、一部歩道がないので2班に分かれて一列で進みます。推定樹齢350年以上、目通り幹囲5・4m、樹高38mの「並木太郎」と名づけられた巨大な杉が現れました。さらに西へ進みます。左にJR日光線の列車が走って行き、前方には男体山が大分大きく見えてきました。



杉並木から住宅街へ～宝殿交差点～11時30分「手打ちそばむつみ庵」

杉並木の国道を進んでいくと、住宅街へ入りました。宝殿交差点へ、「4月16日と17日、弥生祭りで通行止め」の立て看板が出されています。JR日光線のガード下を通過して11時30分、昼食場所の「手打ちそばむつみ庵」へ入店。3テーブル確保できて、私はもり蕎麦、熊坂さんは日光名物ゆばの冷蕎麦。「日光は蕎麦が美味しい」と思いながら店を出ると入店待ちの人が、人気の店のように早めの入店で正解でした。時刻は12時を過ぎました。少し歩いた駐車場のところに、大きく枝を広げた見事な桜が満開でした。



木造洋風建築の日光駅～12時20分 東武日光駅～稲荷神社 西行戻り石

JR日光駅の表示案内が出ている四つ角に出ました。右手奥に木造洋風建築の日光駅が見えたので、ズーム最大でパチリ。直進して少し歩き12時20分、山小屋をイメージした三角屋根の東武日光駅に着きました。小田さんは都合によりここで帰途に、変わって平嶋さんと熊島さんが合流しました。標高は543m、前日スタートした徳次郎宿が約200m、今朝の今市宿が約400m、緩やかな上り道ですが大分上ってきました。商店街の店の軒先には燕の巣があり、今年初めて燕を見ました。神橋にあと約1km地点へ、稲荷神社へ着きました。境内に西行法師ゆかりの「西行戻り石」の巨岩が祀られていました。



鉢石（はついし）宿 日光市指定文化財「鉢石」～大谷川 日光橋 神橋

御幸商店街の緩やかな坂道を上っていきます。左手に旧日光市役所記念公園がありました。日光市指定文化財「鉢石（はついし）」に到着、地中から地表に突き出た岩盤の一端が鉢を伏せたような形のため「鉢石」と称されるようになりました。案内板に「日光山の門前町として栄えた鉢石町は、日光道中の最終宿の鉢石宿があった」と書かれていました。大谷川に架かる日光橋に到着、上流に朱塗り鮮やかな神橋が見えます。



世界遺産日光の社寺エリア～ホテル清晃苑～13時55分 日光東照宮到着

日光橋を渡り、世界遺産日光の社寺エリアに入ります。東照宮・輪王寺・二荒山神社表参道の石畳道を上り、少し脇に入って13時30分にホテル清晃苑に到着。リュックを部屋に置いて東照宮に向かいます。表参道に入り13時55分、日光東照宮に到着しました。東照宮の石塔の前で、全行程を歩いた熊坂リーダー、奥村サブリーダー、勅使河原さん、清水さん、高橋友子さんの記念写真を撮りました。



集合写真撮影～表門～五重塔～三猿～陽明門～唐門～眠り猫～奥社参道

全員そろって集合写真を撮影、大勢の人が参拝に訪れて参道を上っていきます。石鳥居を通り表門前へ、何やら催事が行われていてしばし入場制限、200人ほどが入場待ちです。左手に朱鮮やかな五重塔が建っています。祭事が終わり表門から入場、入場料金は1600円。左甚五郎作「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿を見て絢爛豪華な陽明門へ、門には、霊獣や花鳥、仙人賢人などの彫刻が施されています。唐門を見て本殿に拝殿。東回廊にある奥社へ続く潜門の梁の上に、左甚五郎作の眠り猫が彫刻されていました。奥社に続く上り参道の207段石段途中で一息入れて写真を一枚撮影。



奥社～徳川家康墓所～鳴き龍の薬師堂～標高634mの標識～輪王寺

参道途中に徳川家康の遺訓、「人の一生は重荷を負いて遠き道を行くが如し。急ぐべからず」の立て板が出ていました。奥社を参拝、裏に徳川家康の墓所がありました。参道を下り、陽明門を出て鳴き龍の薬師堂へ。靴を脱いで本殿へ、撮影は禁止。係の人が案内、龍の天井画の下で拍子を叩くと音が共鳴。鈴を転がしているような龍の鳴き声に聞こえるために「鳴き龍」と呼ばれています。陽明門の前と参道階段で記念写真を撮影。参道を下りて行くと「ここは標高634m、スカイツリーと同じ高さ」の標識が出ていました。輪王寺へ、黒門から入り本堂を参拝。裏へ出ると池があり満開の桜と大きなミズバショウが目に入りました。



16時5分 ホテル清晃苑 歩数2万4000歩 距離15km 報告祝賀の宴

16時5分、ホテルに到着。2日目の歩数2万4000歩、距離は15kmでした。脇坂さんと田村さんはここで帰路に。みなさん、大浴場でゆったりと2日間の疲れをとって18時30分、「東照宮へ、ロマネスク日光街道、東照宮」到着報告祝賀の宴へ。勅使河原さんの発声で乾杯、お膳には湯葉などの料理がいい風景で配膳されています。熊坂さんが「2022年3月19日に日本橋をスタート、共に歩き、昨年1月10日に亡くなった青松さんの写真を携行して歩き、今日東照宮に着きました。全11回シリーズ16日間、歩行距離は233.5Km、延べ217名が参加しました」と報告。熊坂さんから、全行程下見を共にした奥村サブリーダーに感謝の登山用手袋をプレゼント。13日以上参加者にはキーホルダーを完歩賞としてプレゼントされました。宴たけなわの最中でしたが記念写真を撮影、みなさん達成感いっぱいの良い顔です。



オプション中禅寺ゆったり観光 中禅寺立木観音、日本三名瀑華厳の滝へ

「東照宮へ、ロマネスク日光街道⑩」3日目はオプションで中禅寺湖への観光です。アジの干物、アイスクリームと間違えてしまったポテトサラダなどの朝食を頂いて、ホテル清晃苑を9時15分に出ました。神橋バス停まで下って中禅寺温泉行バスに乗車。第2いろは坂を經由して10時20分、中禅寺温泉バス停へ着きました。標示板の標高は、大山の1252mより高い1277mを標示。山容が美しい標高2486mの男体山などの景色を眺めながら、中禅寺湖畔を歩き勝道上人が創建した中禅寺へ。本堂で立木のままに手刻した千手観音の立木観音を拝観。中禅寺温泉バス停へ戻り、日本三名瀑の華厳の滝へ。エレベータで滝壺まで下りずに、展望デッキから滝を見学。食事処「南摩」で昼食タイム、温泉まんじゅうなどのお土産を購入して中禅寺温泉バス停へ。13時15分のバスに乗車、第一いろは坂経由で14時少し前にJR日光駅に下りてきました。3日目のオプションも天候に恵まれ、中禅寺ゆったり観光でした。



(いちむら記)